

## トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2018年1月13日～2018年1月19日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

18日(現地、以下同じ)に開催された金融政策委員会では、事前の市場予想通り後期流動性貸出金利を含めた主要政策金利は全て据え置かれました。声明文では、一時的な要因に左右されることなく、インフレ見通しが大幅な改善を見せるまでは金融引き締め姿勢を維持するとしました。

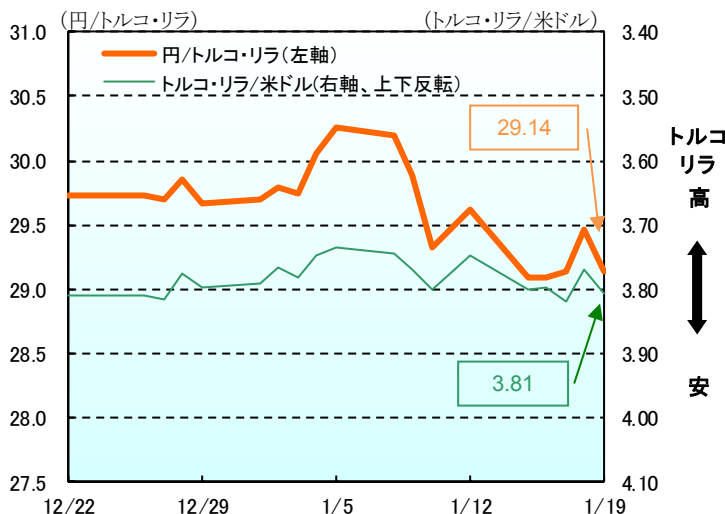
トルコ金融市場では、エルドアン大統領がシリアのクルド人勢力PYD(民主連合)が掌握するシリア北西部への軍事作戦を近日中に実施することを示唆したことから地政学リスクの高まりが嫌気され、為替・金利共に軟調な推移となりました。

### 【2】今週の見通し

今週は特段重要な経済指標の発表は予定されていません。

トルコのエルドアン大統領は、敵対するシリアのクルド人勢力PYDに対する軍事作戦を開始したことを20日に宣言しました。米国はIS(イスラム国)掃討作戦でPYDと協力しており、トルコに対して自制を求めています。軍事作戦が実施されたことで、両国間の関係が一段と悪化する可能性が考えられます。引き続き、地政学リスクの高まりや米国などとの関係など政治情勢には注意が必要な環境が続くと想定します。

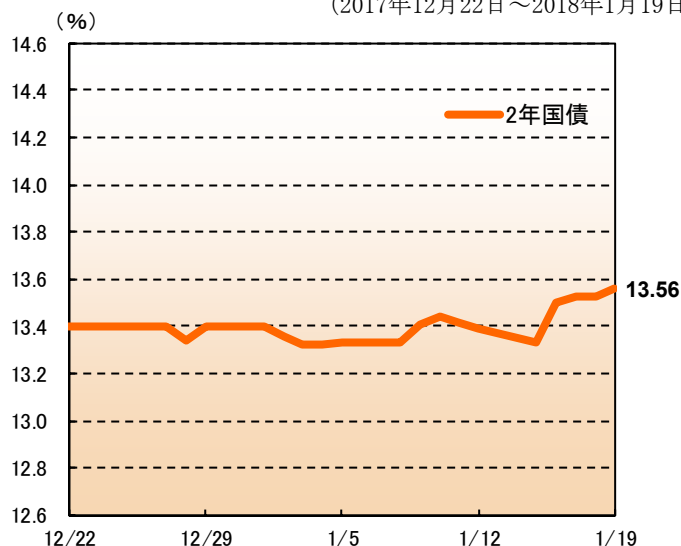
【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年12月22日～2018年1月19日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】

(2017年12月22日～2018年1月19日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>